



年頭のごあいさつ

公益社団法人四日市法人会

会長 宮崎 由至

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えになったことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、法人会の事業、行事への参加と組織の運営に対して多大なご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

お陰さまで各種事業につきまして計画通りに進展しておりますことをご報告させていただきます。

法人会は、税のオピニオンリーダーとして企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体です。

税制、税務行政の健全な発展と、社会に貢献し地域と経済をリードする立場にあります。

明るく活力ある法人会、共に学び、共に活動する参加しやすい魅力ある法人会にしていきたいと考えております。

しかし、安定的な法人会活動を担保するには会員増強は不可欠であり、引き続き本年も組織委員会を中心にして積極的に取組んでまいりますので、従来以上に役員、会員の皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

また、財政面においては本会の収入の40%近くを福利厚生制度収入が占めている現状であります。

昨年「福利厚生制度2年2万社純増運動」を展開しております。当会の財政基盤の充実のために、皆様のご協力をお願いいたします。

さて、経済に目を向けるとアベノミクスの効果は大企業に留まり、我々中小企業にまで届いていないというのが実感であり、中小企業にとっては、厳しい経済状況が続いております。

昨年の衆議院選挙において、与党が大勝したことにより安定した政権運営が予想されることから、本年は我々にも景気回復が肌で感じられることを願っております。

本年も従来以上に税務当局と良好な関係を維持し、e-Taxの利用拡大・「社会保障・税番号制度」いわゆるマイナンバー制度の定着等に積極的に協力してまいりますので、会員の皆さま方のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

今年の干支である戌年（犬）の特徴は、“勤勉で努力家”とあります。また、今年は戌年の中でも戌戌といわれています。戌（つちのえ）は、植物の成長が絶頂期にあるという意味があり、戌（いぬ）の元は「滅」で、草木枯れる状態という意味がありますから2017年に燃え尽きた豊かな灰の中から、新たな芽が2018年にグッと成長することを示しているといえます。

そういった意味で皆様の新しい年が日頃のご勤勉により、実り多い最良の年となりますよう、心からご祈念申し上げ年頭のごあいさつとさせていただきます。